

## 令和7年度第2回千歳市公営企業経営審議会 会議録

日時 令和8年3月3日（火） 14：00～15：30

場所 千歳市水道局2階会議室

出席者 別紙名簿のとおり

### 【委嘱状交付式】

- 1 委嘱状の交付
- 2 市長の挨拶
- 3 委員の紹介
- 4 水道局管理職の紹介

### 【経営審議会】

- 5 開会
- 6 会長及び副会長選出
- 7 会長及び副会長挨拶
- 8 報告等

- (1) 千歳市水道事業の概要について
- (2) 千歳市下水道事業の概要について  
※資料に基づき内容を事務局が説明

### 【質疑等】

なし

(3) 令和8年度千歳市水道事業会計予算について

(4) 令和8年度千歳市下水道事業会計予算について

【質疑等】

(委員)

4ページ令和8年度の経営計画値と予算値が記載されているが、令和8年度の計画値というのは、いつ策定した計画なのか。

(事務局)

令和4年3月に両事業の経営計画を策定した。その中の財政収支見通しの部分の令和8年度の計画値を記載している。

(委員)

ラピダスの関係がまだ見込まれていない時期であったため、乖離があったということによいか。

(事務局)

その通りである。

(委員)

給水戸数や排水戸数が令和7年度と比較して、1500戸程度増加する見込みであるが、これは、こういった属性の戸数が増加すると見込まれるのか。

(事務局)

それぞれ、有収水量を求める際に、家庭用・営業用・工場用などの区分に分けて算出している。令和8年度については、令和6年度の4月～10月分の数値と令和7年度の4月～10月の数値を比較し、増減率を求め、令和6年度の11月～3月分の増収率を見込んだ令和7年度の11月～3月分の見込みを算出し、11月～3月分の増減率を求め、給水戸数や有収水量の増減率を設定している。

(事務局)

ラピダスの進出により、市内には、新しく企業や工場などが立地している部分もあるが、大きくは、アパート・マンションなどの住宅の増加、オフィスビルが建設されているため、こうした建物の増加が要因となっている。

(委員)

いろいろな市町村で審議会委員をさせてもらっているが、今、千歳市は産業が

良く、(給水戸数など) 増えている状況にあるが、他では、増えている市町村はないため、千歳市は、いい状況にあると考えている。

(委員)

予算の概要の水道事業の資本的収支の部分(3ページ)で、企業債が予算との比較で、増となり、その原因が建設改良費とのことだが、この要因について伺う。

(事務局)

令和8年度は、支出額で、約12億円の増加となっている。この主な要因は、6ページに記載している蘭越浄水場ろ過設備増設事業であり、浄水能力を回復させるための費用を計上している。このため、工事費が増加したため、建設改良費が増加している。

(委員)

市民として興味深いのが、車を運転していて、穴ぼこにタイヤがはまらないかということである。この陥没を修繕するための費用は令和7年度から計上されているのか。これは水道事業とは別なのか。

(事務局)

道路陥没の修繕に係る費用は、市の一般会計で計上している。

(委員)

道路が陥没した際の水道管の補修も一般会計で負担するのか。

(事務局)

イメージとしてあるのが、埼玉県八潮市での下水道管の老朽化に伴う道路陥没事故だと思うが、千歳市でいうと、老朽化がないとは言えないが、陥没に至るほどの老朽度を持った管というのは存在しないことを水道局で確認している。

雪解け後、道路のアスファルトが陥没してしまうが、雪解けと寒暖差の影響により、穴が開いてしまう状況である。これについては、一般会計の道路事業の中で対応している。

下水道の関係で、マンホール周りにも同じような状況が起こることがあるが、これについては、水道局で対応している。

(委員)

下水道事業の資本的収支において、令和7年度から8年度にかけて、数字が大

きく減少しているが、令和7年度の数値が大きかったのか、それとも、令和8年度が例年通りの数値なのか、どういう状況であるのか。

(事務局)

令和7年度は、次世代半導体製造工場関連予算を工事部分払いの備えるため当初予算に計上していたが、令和8年度については、令和7年度第2回補正予算を計上している。この令和7年度第2回補正予算を令和8年度に繰り越して、予算を執行する予定である。

このため、令和8年度の当初予算からは、次世代半導体製造工場関連支出予算が減少し、この財源となる企業債等の収入予算が減少することから、令和8年度の予算額は大幅に減少している状況である。

(委員)

企業債はラピダスに関する支出であるため、その分が減少したということか。

(事務局)

この資料は、当初予算での比較になるため、令和7年度当初予算では、次世代半導体製造工場関連支出を計上していたが、令和8年度当初予算では、計上していないため、予算規模的には、令和8年度予算よりももっと少ない額が例年通りの予算規模となる。

(委員)

資料12ページ、下水道事業の汚水管更生事業で、6億8692万円が計上されているが、この予算は例年通りの額なのか。

(事務局)

これは、管更生事業といい、本市では、令和3年度に鉄北通りで道路陥没が発生した。これを受けて、毎年、管を新しくしていく事業を実施している。予算額については、毎年同程度を計上し、毎年同じ規模（長さ）を実施していくこととしている。

(委員)

理解した。今後も積極的にこうした事業を実施していただきたい。

事務局から、次回は令和8年夏頃に浄水場や下水処理場などの施設を見学する場を設ける旨を説明し、日程等については後日連絡する説明を行った後に、次の質疑あり。

(委員)

今後の予定であるが、夏に施設見学を予定しているということであるが、今後の審議会の案件で決まっているものはあるか。審議会なので、諮問案件が出てくるものと思われる。

(事務局)

秋頃に、令和7年度の決算について、審議いただく機会を設ける予定である。その前に、本日説明した水道事業・下水道事業の施設を実際に見ていただくことで、理解を深めていただく場を設けたいと考えている。

(事務局)

現在の水道事業・下水道事業経営計画は令和4年3月に策定したものである。これ以降、ラピダスの進出もあり、大きく情勢も変わっていることもあるため、経営計画の見直しについても実施しなければならないと考えている。経営計画の見直しを行う際には、具体的な数字を基に、諮問させていただくことになるが、その時期等については、現在検討中であるため、改めてご相談させていただくこととなる。

10 閉会

以上